

授業科目(ナンバリング)	茶道文化ⅢA(AB301)			担当教員	安部直樹 嶋内麻佐子 ※柳井駿平		
展開方法	演習	単位数	1単位	開講年次・時期	3年・前期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
雪吹点前・不時点前の習得を通して、もてなしについて考える力を高めることを目的とする。花生け体験の中で、花の取り合わせや「格付け」について理解する。また煎茶の淹れ方を習得し、日常生活で活かせるもてなしを学ぶ。							⑪⑫
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	雪吹点前の特徴や茶花の真・行・草の生け方の特徴を理解し、説明することができる。				小テスト	5%	
情報収集、分析力	禅語や花について情報を収集し、自己の修養のために役立てることができる。				課題・レポート	10%	
コミュニケーション力							
協働・課題解決力	実技(準備・片付け含む)に取り組む中で、グループの中と協調できる。				授業態度	30%	
多様性理解力	「雪吹点前」が実践できる。				実技確認	55%	
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>実技確認の成績は55%とし、雪吹点前が課題となる。雪吹点前は、雪吹服紗の扱い方(包み方・清め方)が理解されているかなどから評価する。授業態度については30%とし、稽古への積極性を評価する。毎回の授業内容をポートフォリオを用いて整理し、習熟度の向上に繋げる。小テストは5%とし、第2回目と第6回目に実施する。実技確認の結果については学生と個別に振り返りの時間を設けてフィードバックを行う。</p>							
授業の概要							
<p>点前については、雪吹点前を完成させることを目標とする。基本となる点前から茶会に応じた各種の点前(雪吹点前、不時点前)や所作の違いを理解する。教材として、茶道文化研究所作成の動画も用いる。また、煎茶の歴史と種類について学び、実際に煎茶を淹れる中でディスカッションを行う。授業内で使う抹茶・菓子、その他の消耗品など、1,400円の諸経費が必要である。カリキュラム上、茶道文化ⅢAを履修するためには、茶道文化ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡBの単位を取得することが必須である。</p> <p>この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分とする。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：嶋内 麻佐子著『茶道文化基礎編』九州文化学園茶道文化研究所(2011年)  参考書：長崎国際大学人間社会学部国際観光学科編『観光の地平』学文社(2011年)  指定図書：安部直樹・嶋内麻佐子・正山征洋・山本源太・米田該典著『茶花・菓草・菓木手帖』玄海町(2010年)</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・茶室での貴重品の取り扱いには自己管理とする。茶道具を必ず持参する。アクセサリは身につけない。靴下を着用する。遅刻・欠席をしない。</li> <li>・次回の授業までに前回の点前の内容を練習しておくこと。</li> <li>・点前の修得だけでなく、茶の行事や地域で開催される他流の茶会にも積極的に参加することで幅広い茶道の文化を学んでもらいたい。</li> <li>・図書館を利用し、煎茶の種類と淹れ方について事前準備を行うこと。</li> </ul>							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	・濃茶点前復習①	濃茶点前の復習。	講義概要(シラバス)を確認する。 教科書 pp. 81～93 を読み、 予習・復習をする。
2	・花生け ・小テスト	茶花の真・行・草の生け方について理解する。さらに、 花入や花の取り合わせについて学ぶ。	教科書 pp. 39～41 読み、予 習・復習をする。
3	・不時点前見本	不時点前の見本を確認し、概要を理解する。	濃茶点前の流れを整理す る。
4	・不時点前稽古①	不時点前の復習。	茶筌飾り・服紗の扱い(使 い服紗・出し服紗・替え服 紗)を予習・復習する。
5	・不時点前稽古②	不時点前の復習。	茶筌飾り・服紗の扱い(使 い服紗・出し服紗・替え服 紗)を予習・復習する。
6	・雪吹点前見本 ・小テスト	雪吹点前の見本を確認し、概要を理解する。	服紗の扱い(使い服紗・雪 吹服紗)を復習する。
7	・雪吹点前稽古①	雪吹棗の包み方、さばき方など服紗扱いを修得する。	教科書 pp. 44～47 を読み、 予習・復習をする。
8	・雪吹点前稽古②	雪吹点前の復習。	客点前の予習・復習をす る。
9	・観月茶会概要 ・雪吹点前稽古③	茶道文化ⅢB で実施する観月茶会の概要を説明する。 雪吹点前の復習。	雪吹点前の自主的な稽古 をし、点前の流れを整理す る。
10	・雪吹点前稽古④	雪吹点前がどこまで理解されているか確認する。	雪吹点前の自主的な稽古 をし、点前の正しい型を身 につける。
11	・雪吹点前稽古⑤	雪吹点前の完成を目指す。	雪吹点前の完成を目指し、 自主的な稽古をする。
12	・点前確認	雪吹点前がどこまで理解されているか確認する。	雪吹点前の完成を目指す。
13	・点前確認振り返り ・ミニ茶会に向けて	点前確認を振り返り、記録カードを作成する。 ミニ茶会の役割決めや点前、接待の動きの復習。	点前確認を振り返り、自己 評価する。
14	・ミニ茶会	略式の茶会を通して、亭主と客の役割を確認する。亭 主は雪吹点前、客は濃茶の飲み方と菓子の取り方につ いて学ぶ。	雪吹点前や客作法の予 習・復習をする。
15	・観月茶会について ・煎茶について	茶道文化ⅢB で実施する観月茶会での役割を発表す る。 煎茶の歴史と種類について理解する。煎茶を実際に入 れてみる。	教科書 pp. 15～22 を読み、 予習・復習をする。